

令和3年度市民活動センター協働運営の状況について

1 相談機能

(1) 令和3年度相談件数(4月～9月)

昨年の上期に比べ、相談件数が81.7%(24件減)となった。新型コロナウイルス感染症の影響と見られる。センターへの新規団体登録は、20件の相談があり、そのうち6団体が新たにセンターの登録団体となった(昨年度も24件の相談はあったが、新規登録は0であった)。助成金の相談は減った一方でNPO法人設立の相談は増加した。

相談内容	登録団体	一般団体	市民・登録外団体	合計
ボランティア関連	0(0)	0(0)	9(6)	9(6)
市民活動団体を知りたい	1(0)	0(1)	1(6)	2(7)
センター登録 (団体登録に関する相談含む)	0(0)	0(0)	20(24)	20(24)
団体設立	0(0)	0(0)	4(3)	4(3)
NPO法人設立	1(0)	0(0)	6(1)	7(1)
助成金	2(9)	0(0)	1(2)	3(11)
組織運営	5(14)	0(0)	5(1)	10(15)
協働	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	11(5)	0(0)	12(31)	23(36)
フォロー	10(4)	0(0)	19(24)	29(28)
合計	30(32)	0(1)	58(98)	107(131)

※ () 内は令和2年度の相談実績

(2) 専門相談事業

前年度同様、対面での相談が困難であったこともあり、オンライン対応をした。相談内容により、提携する専門家や市内団体に相談員として協力を頂いた。

実績： 43件(うちフォロー14件)

内容： 前年度より11件(134%)増加した。特にNPO法人設立の相談が10件(前年度は1件)と突出して多く、次いで税務・会計相談となっており、ニーズは高いと考えられる。

2 連携機能

- ・平塚市社会福祉協議会と災害ネットワーク構築を行う。継続して訓練等に取り組むことで平塚市の災害救援体制への協力を推進していくとし、センター登録団体の防災関連団体から少しずつ顔の見えるネットワークづくりを進める。
- ・JT 日本たばこ株式会社とネットワーク構築を行う。SDGs をテーマに事業者・NPO等の関係づくり及びコーディネートを行う。
- ・東京都市大学環境学部より神奈川県における気候変動影響・適応策に関する聞き取り調査への協力依頼(2021年9月7日)があり、該当と思われる団体・企業10件ほど

紹介し、4件をマッチングした。

- ・東海大学学生のアウトリーチ活動協力（市民活動団体との連携促進）。
- ・一般社団法人ペガサスとの連携として障がいを持たれた方（主に20代～30代）のインターン受け入れを継続している。

3 情報発信機能

- ・前年度に引き続き、相談事業にオンラインを活用する等、対面しない形でのコミュニケーションをとれるようにした。
- ・10月27日にオンライン（ZOOMによる）講座を予定しており、NPO法人や市民活動団体にZOOMのホストを体験してもらい、オンラインで主催する力を身に着ける。

4 その他

・ひらつか市民活動センターは、次のとおり施設の時間短縮、制限（会議室等の利用を定員の半数）を実施した。

【4月1日～5月30日】

9時～21時 開館

【6月1日～6月20日】

9時～20時 開館

【6月21日～7月21日】

9時～21時 開館

【7月22日～9月30日】

9時～20時 開館

- ・ボランティア情報誌「ひらつかの空」第2版の発行に際し、3名の若者インターンが7つの団体取材し、編集に参加してもらっている。発行は11月中旬を予定。
- ・スタッフ研修を内外で行い、育成に力を入れている。内部研修ではセルフチェックによる組織課題の可視化と組織のリデザイン事業（2021年度ボランティア団体成長支援事業への参画：2年目）や、組織基盤強化を目的に団体内のセルフチェック17の視点を行い、各支援センターで支援プログラムを作成し、それに基づき伴走支援を行っている。外部研修では神奈川県の新任スタッフ研修等に出席している。